

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## 株式会社ミツウロコグループホールディングス（証券コード:8131）

### 【据置】

長期発行体格付                      A -  
格付の見通し                        安定的

### 格付事由

- (1) ミツウロコグループの純粋持株会社。LP ガス販売を中心とするエネルギー事業のほか、不動産賃貸および複合商業施設経営、再生可能エネルギーによる発電や電力小売・卸売、レストランやコンビニエンスストアの運営、リースなどの多様な事業を手掛けている。14年度のLP ガス販売量で国内7位。小売電気事業者としても国内上位の販売実績を持ち、電力小売全面自由化を受けて16年4月から低圧電力供給を開始した。なお、グループには強い経営一体性が認められることから、当社の格付にはグループ全体の信用力を反映している。
- (2) LP ガスの国内需要は家庭業務用を中心として減少傾向にあるが、小売営業権買収や効率化の推進などにより、主力のエネルギー事業は比較的安定した収益を維持できる見込みである。また、業績不振が続いていたリース事業の収益改善に加えて、電力や不動産賃貸、飲料など多角化事業による収益下支えが引き続き期待できる。財務面ではM&A などによる成長投資が見込まれるが、総じて慎重な投資スタンスを保っていることもあり、健全な財務体質を維持できるとみている。以上より、格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- (3) 17/3期の営業利益は44億円と前期比22%の増益が予想される。気温要因によるLP ガスの需要変動は避けられないが、リスク債権減少に伴うリース事業の収益改善が増益に寄与する見込みである。18/3期以降も電力や不動産賃貸などによる下支えが引き続き期待でき、気温要因の影響を除けば収益はおおむね安定的に推移する見通しである。電力・都市ガスの小売全面自由化を契機としてエネルギー間競争が激化する方向にある中、グループ内で多様な事業を手掛ける強みを活かして、中期的に競争力向上を図ることが課題である。
- (4) 16年12月末時点の現預金残高は引き続き有利子負債残高を上回っている。また、同時点の自己資本比率が55.6%となるなど、財務構成は健全なレベルと維持している。レストランやコンビニエンスストアの運営などを手掛けるフード&プロビジョンズ事業を中心に投資を積極化しているが、投資額はほぼ営業キャッシュフローの範囲内に収まる見込みである。

（担当）千種 裕之・古川 聖治

### 格付対象

発行体：株式会社ミツウロコグループホールディングス

### 【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A-	安定的

## 格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2017年2月13日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：島田 卓郎  
主任格付アナリスト：千種 裕之
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<http://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<http://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2014年11月7日）、「石油」（2013年5月21日）、「持株会社の格付方法」（2015年1月26日）、「国内事業法人・純粋持株会社に対する格付けの視点」（2003年7月1日）として掲載している。
5. 格付関係者：  
（発行体・債務者等） 株式会社ミツウロコグループホールディングス
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：  
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表  
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

### 留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

### NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ（<http://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

### 本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

## 株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル